

分類	実技項目	教育の目的	使用する教材	実技の方法	実物見学、体験しながら説明するポイント	時間(h)	✓	
現場・実機による理解の深堀	プレス機・シャーの種類と特徴	事業所で使用するプレス機・シャーの特徴・危険を理解し正しく操作できる。	商品の取説と座学テキストの内容を見て、構造と使い方を理解。	実機を見せて、安全な状態で各部を確認し、作業方法を理解する。	プレスの駆動力（機械、液圧、空圧）、機械機構、制御方式（サーボ）、クラッチ、ブレーキ、動力伝達装置、一工程一停止機構、急停止機構、オーバーラン監視装置、過負荷防止装置	0:10		
	プレスの金型、シャーの刃具の交換	事業所で使用するプレス機、シャーの金型、刃具を正しく交換できる。	商品の取説と座学テキストの内容を見て、構造と使い方を理解。	実機を見せて、安全な状態で各部を確認し、作業方法を理解する。	ダイハイト、上死点、下死点、ベッド、ダイセット、スライド、ホルスター、シャンク、ストリッパー、パイロットピン、キッカーピン	0:10		
	プレス機、シャーの安全装置	事業所で使用するプレス機、シャーに装備される安全装置を適正に活用できる。	商品の取説と座学テキストの内容を見て、構造と使い方を理解。	実機を見せて、安全な状態で各部を確認し、作業方法を理解する。	安全ブロック、スライド落下防止装置、圧力防止装置、両手操作式の安全距離、光線式の安全距離と追加距離、PSDIの適合要件	0:10		
	プレス機の安全囲い	安全囲いの取付、調整、取り外しを正しく実行できる。	商品の取説と座学テキストの内容を見て、構造と使い方を理解。	実機を見せて、安全な状態で各部を確認し、作業方法を理解する。	型取付安全囲い、プレス取付け安全囲い、固定式安全囲い、調節式安全囲い、インターロックガード式安全装置、手引き式安全装置	0:10		
本番を想定した練習で慣れる	作業服・保護具	保護具の正しい着用・使用ができる。	商品の取説と座学テキストの内容を見て、構造と使い方を理解。	着用、着脱させるを3回以上繰り返す。	保護帽、安全靴、保護メガネ、切創防止用手袋、手っ甲、作業服の袖口締める、上着のボタンはひらひらなし。劣化、寿命を指摘する。慣れさせる。着用の重要性を強調する。	0:05		
	作業前の点検	漏れなく、正しい順で、正しい方法で点検し、正しく判断できる。	点検表を使う。無ければなるべく商品の取説と座学テキストから、作る。	点検表に基づいて、正しい順で、漏れなく、正しい方法で、正しく判断する。	外観、駆動力関係、電気系統、油圧系統、周辺の整理整頓、床の油・水汚れ	0:10		
	プレスの準備	目的に応じたプレス金型、材料供給装置、安全囲いのセッティング	設備の取説と座学テキストの内容を見る。	実物を見せて、安全な状態でやって見せて、やらせてみる。安全距離を確保する。	保管場所から金型、ジグ、囲いを台車等で周辺に移動し外段取する。プレスを上死点まで寸動で動かし、安全ポスト等で安全を確保してから、型を適正に組み込み、材料供給装置、安全囲い、安全装置をセットし、稼働できる状態にする。	0:25		
	プレスの実践	プレス設備ごとに、曲げ、絞り、切断等各種プレス加工ごとに安全に正しく実行できる。	設備の取説と座学テキストの内容を見る。	実物を見せて、安全な状態でやって見せて、やらせてみる。安全距離を確保する。	各種プレス種類の実機とサンプル材料を使用して、よく実行する様々な技法をやって見せて、やらせて、プレス作業を慣れさせる。	0:15		
	プレスの欠陥	プレスの欠陥の種類と原因を理解し、予防できる。	設備の取説と座学テキストの内容を見る。	欠陥・不良状況を想定し、対処方法をやってみせる、やらせてみる。	金型のかじり・滑合型部品のせり、ダウエルピン(ノックピン)や締付けボルトの折れ・抜け、ストリッパーボルトの緩み・傾き・折れ、ストリッパー、ノックアウト用ばねのへたり・折れ、外形定規(ゲージ・あて)のつぶれ・がた・緩み、ダイの欠け・ひび割れ・つぶれ、パンチの抜け・座屈・欠け・折れ、パイロットピンの引込み・抜け・変形、カス上がり、カス詰まり(穴詰まり)、金型締付けボルトの緩み、焼付け、シャンクの緩み	0:20		
終了・片付け	プレス作業の終了と安全衛生管理	職場のルールに則り安全に正しく仕事を終える。	作業終了時のチェックシートに沿って行動。なければ作成する。	プレス作業を終了し、後かたづけ、保管の流れを体験する。	作業の終了、設備の停止、電源の切断、整理整頓清掃、保管容器、乾燥庫、安全確認、火の元確認	0:05		
*プレスの種類、機材、作業の種類が少なく単純な場合は『プレスの実践』の時間を増やして合計2時間以上とする。						合計	2:00	